

【古今著聞集】

【】(ひちりき師用光)

次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

ひちりき師用光、南海道に向かふ時、海賊にあひにけり。まさにうちかからんとする時、用光、海賊に向かひていはく、「我ひさしくひちりきをもて朝につかへ、世にゆるされたり。今 いふかひなく、賊徒のために害されんとす。これ宿業のしからしむるなり。しばらくの命をえさせよ。一曲吹かん。」といへば、海賊抜ける太刀をおさへて吹かせけり。用光、最後のつとめと思ひて、泣く泣く吹きにけり。その後、なさけなき群賊も感涙をたれて、用光をゆるしてけり。あまつさへ、淡路の浦までおくりて、おろしおきけり。諸道に長けぬるは、かくのごとくの徳を、かならずあらはすことなり。末代なほしかあることども多かり。

(古今著聞集)

問一 「世にゆるされたり」の意味を次のア～エから選べ。

ア どこで奏してもよいと朝廷に認められている

イ ひちりき師として世間に認められている

ウ 世間から自分のおかした罪をゆるされている

エ 南海道に向かうことを朝廷からゆるされている

問二 「いふかひなく」を現代仮名づかに直して、ひらがなで答えよ。

問三 「なさけなき」の意味を次のア～オから選べ。

ア 風流なことなど解しない

イ 他人をゆるすことができない

ウ 悪事を反省しようとしめない

工 涙を流したことなどない  
オ 自分のことしか考えない

問四 「用光をゆるしてけり。」の理由として、最も適当なものを、次のア～エから選べ。

ア 朝廷につかえる用光をおそうことを反省したから。

イ 用光の前世の約束事に、同情の気持ちをいただいたから。

ウ 泣く泣くひちりきを吹く用光をなさげなく思ったから。

エ 用光の吹いているひちりきの音がすばらしかったから。

問五 「かくのごとく」とはどんなことか。「ひちりき・海賊・いのち」の三語を必ず用いて、四十字以内で説明せよ。

(熊本)

「解答」

問一 イ

問二 いかいなく

問三 ア

問四 エ

問五 用光がひちりきに秀れていたの、海賊を感動させて、いのちが助かったこと。